事務事業マネジメントシート（平成23年度実績と平成24年度計画）

平成２４年　５月２８日更新

事務事業名	西合志東小学校グラウンド拡張整備事業	□ マニフェスト関連　□ 全庁横断課題関連　□ 集中改革プラン関連	

総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木　洋治
	施策	20	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	枦　　裕介
	基本事業	65	教育施設の整備	所属班	総務施設班	（内線）	2214

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠		成果優先度評価結果	⑥
	一般	10	2	3	11495			コスト削減優先度評価結果	⑨

終了、開始年度	□ 23年度で終了　　□ 23年度から開始	事業期間	□単年度のみ　□単年度繰返（開始年度　　年度） ☑期間限定複数年度（　22　～　23　年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 （開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む）	本事業は、西合志東小学校児童の増加に伴い、隣接する用地を買収しグラウンドの拡張を図るものである（買収面積およそ3000㎡）。また、職員駐車場についても、現在の敷地では十分なスペースではないため、隣接する用地を買収し駐車場の拡張を図るものである（買収面積およそ950㎡）。　・西合志東小学校において児童数は年々増加しており、それに伴い勤務する職員・行事等で来校する保護者も増加しているため、現在の敷地では行事等に支障をきたしている。必要性を検討した結果この事務事業を新たに企画することとなった。　・H21.5現在の西合志東小学校児童数は938名である。今後の児童数について、未就学児から予測すると平成22年度で958名、平成23年度で983人となっている。児童1人あたりの運動場面積および職員・保護者の駐車場スペースは現在よりもさらに狭くなることが予測される。
【業務の流れ】	平成22年度・・・調査、用地買収、平成23年度・・・測量設計委託監理、買収地整備工事
【主な予算費目】	用地買収費用（90、000千円）・・・宅地予定地単価より、測量設計委託管理（2、500千円）、グラウンド整備拡張工事費（22、000千円）・・・西合志南中学校運動場拡張工事(H9)設計額平米単価より、駐車場整備工事（5、500千円）
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	職員・議員から運動会等行事の際に、児童数に対するグラウンドの広さが十分ではないとのことから、敷地拡張の要望があがっている。また、職員から駐車場スペースの拡張要望もあがっている。

１　現状把握の部（ＤＯ、ＰＬＡＮ）

(1)事務事業の目的と指標　　新規・拡充区分

①手段（主な活動）23年度実績（23年度に行った主な活動）（DO）

税務署との事前協議や用地買収交渉に取り組んだ。24年3月末に用地買収契約1件、工作物移転補償契約1件が成立したことから、
未払い金17,534,200円の事故繰越の手続きを行なった。

24年度計画（次年度に計画している主な活動）(PLAN)

①活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	指標	単位
ア	用地買収面積	㎡
イ		

予算の主な増減の理由

②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

学校用地、児童、教職員

②対象指標（対象の大きさを表す指標）

	指標	単位
ア	土地	㎡
イ	児童	人

③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

拡張し快適な教育施設にする。

③成果指標（意図の達成度を表す指標）

	指標	単位
ア	児童一人当たりの平均敷地面積	㎡
イ		

＊③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠

適切な教育環境になる。

総トータルコスト 全体計画 ～23年度
0

(2)各指標・総事業費の推移

			単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標		ア	㎡	0	670	3,277	0				
		イ									
② 対象指標		ア	㎡	0	24,209	27,486	24,209				
		イ	人	0	982	1,060	1,060				
③ 成果指標		ア	㎡	0	24.6	28	24.6				
		イ									
投入量	事業費	財源内訳 国庫支出金	千円			4,693					
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円			25,900					
		その他	千円				2,398				
		繰入金	千円								
		一般財源	千円		13,787	1,421					
		(A) 事業費計	千円	0	13,787	32,014	2,398				
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	人件費	正規職員従事人数	人	0	3	2	3				
		延べ業務時間	時間	0	340	200	450				
		(B)人件費計	千円	0	1,400	824	1,817				
	トータルコスト(A)＋(B)		千円	0	15,187	32,838	4,215				

事務事業名	西合志東小学校グラウンド拡張整備事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課

2　評価の部（ＳＥＥ）

＊原則は23年度の事後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐達成した　☑達成しなかった　⇒【原因 用地交渉がまとまらなかったため。
目標達成度評価	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☑目標達成見込みあり⇒【理由　☐目標達成は厳しい　⇒【理由と対策 用地交渉を再度行う予定である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか	☐向上余地がある　⇒【理由　☑向上余地がない　⇒【理由 粘り強く用地交渉を行うしかない。
有効性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐他に手段がある（具体的な手段、事務事業）　☑他に手段がない　⇒【理由 ☐統廃合・連携ができる　⇒【理由 ☐統廃合・連携ができない　⇒【理由 グラウンドを拡張する場所は他にはなく妥当である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐削減余地がある　⇒【理由　☑削減余地がない　⇒【理由 適正な企画や品質があり、それを実施設計の中に反映している。
効率性評価	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐削減余地がある　⇒【理由　☑削減余地がない　⇒【理由 最小の人員で対応しているので、余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐見直し余地がある　⇒【理由　☑公平・公正である　⇒【理由 学校は公共施設であり、各学校での均衡は必要である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐見直し余地がある　⇒【理由　☑役割分担は適正である　⇒【理由 専門性のある業務であるため適正である。

3　評価結果の総括（ＳＥＥ）　※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

用地交渉に行っているが、まだ用地の取得ができていない。

4　今後の方向性（事務事業担当課案）（ＰＬＡＮ）

（1）今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止　☐休止　☐目的再設定　☐事業統廃合・連携　☐事業のやり方改善（有効性改善
☐事業のやり方改善（効率性改善　☐事業のやり方改善（公平性改善
☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

（2）改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
成果	維持			
成果	低下			

（3）改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策